

「無事ですタオル」のマニュアル

平成 29 年 6 月 11 日

咲が丘中央自治会防災部会
部会長 内田 拓至



1. はじめに

「無事ですタオル」は、大きな地震が発生した後に「我が家は無事である」ことを周囲に知らせるものです。玄関や門扉、ベランダ、手摺等々道路から見える場所に掲げることで、関係者が安否確認作業をスムーズに行い、自治会員の救出活動を適正に実施出来ることを目的とします。

2. 使用方法

人命救助が最重要であることから次の6つの項目を順に実施します。

- 2の1. 震度5弱以上の地震が発生した際に、まず身の安全を確保します。
- 2の2. 各家庭内で家族の無事を確認します。
- 2の3. 家族の無事を確認後に道路から見える場所「無事ですタオル」を掲げます。
- 2の4. 各家庭では安否確認期間中3日間を目安に「無事ですタオル」を掲げ続けます。
- 2の5. 関係者（自治会員、防災部会役員、市役所職員等々、その他）が安否確認作業を続けます。
- 2の6. 安否確認完了後、各家庭では「無事ですタオル」を撤収し、各家庭の決められた所に適切に保管、維持します。

3. 備考

- 3の1. 「無事ですタオル」は家族全員が判る場所にすぐに取り出せるような状態で保管します。
- 3の2. 「無事ですタオル」の掲示の訓練を毎月1回実施します。第2土曜日の午後3時から4時迄とします。
中止する時は事前に何らかの方法で連絡をします。
- 3の3. 当日外出される予定の際は、前もって掲げるなどの配慮をお願いします。



このように門に掲げるなど道路から見える場所に掲げて下さい。